

社会福祉法人
鈴鹿市社会福祉協議会
理事長 長谷川 隆

社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会と
学校法人享栄学園鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部との
災害発生時における相互協力に関する協定書

平成27年4月30日

新協定
理事長 長谷川 隆

社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会

学校法人享栄学園鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部

社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会と
学校法人享栄学園 鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部との
災害発生時における相互協力に関する協定書

社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会（以下「甲」という。）と学校法人享栄学園鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部（以下「乙」という。）は、鈴鹿市内において地震、風水害等における大規模な災害が発生した時（以下「災害発生時」という。）における相互協力に関し、次の通り協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、鈴鹿市内において災害発生時に、迅速かつ効率的に被災者に対する支援活動を行うことができるよう、甲と乙が相互に連携、協力することで被災者等の生活安定に寄与することを目的とする。

（協力内容）

第2条 甲は乙と協議し、双方の組織と機能を最大限に活用し、次に掲げる事項について相互に連携し、協力するものとする。

- （1）鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部サテライトセンターの設置
- （2）学生ボランティアの募集・協力
- （3）前各号に掲げるものの他、甲乙が協議し定める活動

2 前各号に掲げる業務の細目に関し、甲乙協議を行う。

（費用負担）

第3条 第2条各号に規定する業務に関し、必要な費用負担は、甲乙協議の上、決定するものとする。

（負傷および事故の補償）

第4条 支援活動に参加したボランティアの負傷またはボランティアによる事故については、ボランティア自身が加入するボランティア活動保険の補償によるものとする。

（平常時における体制整備）

第5条 甲および乙は、平常時から、第2条各号に規定する業務について備えるとともに、関係機関および関係団体との間にネットワークを整備しておくものとする。

- 2 平常時には年1回以上の相互情報交換会議を実施する。
- 3 平常時には年1回以上の相互訓練を実施する。

(個人情報の取扱い)

第6条 甲および乙は、本協定の遂行に発生する個人情報の取扱いについては、甲および乙の個人情報保護規程に基づき適切に管理するものとする。

(有効期間)

第7条 この協定の有効期間は、協定締結の日から翌年3月31日とし、以後は4月1日より翌年3月31日までとする。ただし、期間満了の日の3か月前までに甲、乙いずれからも解除または変更の申し出がないときは、更に1年延長されたものとみなし、以後この例によるものとする。

(その他)

第8条 この協定に定めのない事項および協定に関して疑義が生じたときは、その都度、甲乙が協議して定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名の上、各自その1通を保有するものとする。

平成 27年 4月 30日

甲 住 所 三重県鈴鹿市神戸地子町 383-1
名 称 社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会

代 表 会 長

南 条 和 治



乙 住 所 三重県鈴鹿市郡山町 663-222
名 称 学校法人 享栄学園
鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部

代 表 理 事 長

畑 尾 和 彦

